■主要資材価格

（単位：円）

品名・規格	単位	松山	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	那覇
異形棒鋼	SD295A・D19～25電炉	t	60,000	60,000	60,000	61,000	61,000	61,000	61,000	62,000	62,000	71,000
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8	〃	76,000	77,000	77,000	78,000	78,000	78,000	78,000	79,000	79,000	88,000
セメント	普通バラ	〃	8,800	10,500	9,000	9,800	8,800	8,000	6,800	9,300	8,800	12,700
コンクリート型枠用合板	12×900×1,800㎜・輸入品	枚	930	930	890	890	890	890	890	890	890	950
ストレートアスファルト	針入度60～80	t	40,000	40,000	37,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	42,000
鉄筋コンクリートU形	300B	個	1,290	1,410	1,360	1,060	1,230	990	1,080	1,180	1,360	1,470
コンクリート積みブロック	250×400×350㎜A種	〃		450								450
硬質塩化ビニル管	VP100㎜	本	3,230	3,230	3,230	3,230	3,230	3,230	3,230	3,230	3,230	3,390
電線（IV）	1.6㎜	m	12.3	12.3	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	13.2
ガス管	白ねじ付き50A	本	2,970	3,030	3,030	3,030	3,030	3,030	3,030	3,030	3,030	3,280
軽油	ローリー	ℓ	70.0	69.0	72.5	73.0	74.0	72.5	73.5	73.0	74.0	－
鉄くず	ヘビーH2	t	17,000	17,000	16,000	15,500	15,500	15,500	15,500	15,000	15,000	18,000

■地区別資材価格

（単位：円）

品名・規格	単位	中村	福岡	北九州	久留米	飯塚	佐賀	唐津	長崎	佐世保	熊本	八代	大分	中津	佐伯	宮崎	都城	鹿児島	川内	那覇	石
レディーミクスト 18-8-40	㎥	13,000	10,200	9,100	8,600	9,700	9,800	11,200	8,200	9,900	5,400	12,050	5,400	13,150	11,250	11,200	11,200	11,000	10,800	9,700	10,6
コンクリート 18-18-25(20)	〃	13,900	10,500	9,400	8,900	10,000	10,200	11,600	8,550	10,250	6,000	12,700	6,150	13,950	12,000	11,800	11,950	11,600	11,300	10,150	11,5
〃 21-18-25(20)	〃	14,300	10,950	9,850	9,350	10,450	10,750	12,150	9,100	10,800	6,400	13,150	6,650	14,450	12,500	12,000	12,450	12,000	11,700	10,500	12,0
砂利 25㎜ 洗い	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,900	—	—	—	—	2,600	—	—	—	—
砂 荒目洗い	〃	海3,000	海2,750	海2,850	3,100	海2,800	海3,150	海2,700	海2,800	海2,900	2,600	3,000	海2,500	海2,800	海3,100	海3,100	2,400	海2,700	2,400	海2,750	3,8
コンクリート用砕石 20～5㎜	〃	3,200	3,000	2,900	3,300	2,650	3,100	2,800	2,900	2,950	2,600	2,900	2,400	2,900	2,900	3,000	2,600	2,500	2,600	3,700	4,3
再生クラッシャラン 40～0㎜	〃	2,350	2,200	2,300	2,500	2,400	2,400	2,400	2,200	2,400	2,000	1,900	1,800	2,700	2,500	2,000	2,000	2,300	2,500	2,450	2,7
粒調砕石 40～0㎜	〃	3,100	2,500	2,500	3,000	2,600	3,000	2,700	3,000	2,800	2,400	2,700	2,100	2,800	3,000	—	—	2,800	3,100	2,500	2,7
単粒度砕石 6号13～5㎜	〃	3,300	3,200	2,900	3,400	2,700	3,100	2,900	3,150	3,050	2,900	3,000	2,400	3,400	3,200	3,000	2,800	2,800	3,200	3,800	4,4
アスファルト混合物 密粒度13	t	9,100	7,000	6,900	7,300	7,600	8,300	8,600	7,900	8,700	7,300	8,100	7,900	8,600	9,000	8,300	8,400	8,400	8,200	8,000	11,0
〃 粗粒度20	〃	8,700	6,700	6,600	7,000	7,300	7,900	8,200	7,500	8,300	6,900	7,700	7,600	8,300	8,700	8,000	8,100	8,100	7,900	7,700	11,0

情報ネットワーク

断続的な価格交渉へ

（9月15日調べ）

■レディーミクストコンクリート（大分）

18－8－40で立方㍍当たり、5400円と前月比変わらず。当地区では、7月から新協組による共販を開始した。6月までの駆け込みが瞬間的に30万立方㍍に達したが、7月以降は小口の商いが中心。目先、この状況が続くとみられるが、同協組の売り腰が強固なことから、需要期を迎え断続的な価格交渉が行われる見通しである。

■アスファルト混合物（那覇）

密粒度13で1トン当たり8000円と前月比変わらず。7月の出荷量は、3万1420トン（沖縄県アスファルト合材協会調べ）と前年同月比21％減少した。業界ではストアス値上げを受け入れ、販価への転嫁を正式に打ち出すも、需要減少や、販売競争から値上げ交渉は難航している。先行き、需要期を迎えるため、市況は強含み横ばいの見通し。

■異形棒鋼（福岡）

横ばいで推移

SD295A・D19で1トン当たり6万000円と前月比変わらず。上伸していた鉄くず価格が反落しているが、メーカー工場の改修工事による供給停止や夏季減産効果を背景として、市況は底堅い動きとなっている。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。

問い合わせは、㈶建設物価調査会九州支部（☎092・481・0951）、または沖縄支部（☎098・863・8826）へ。

市町村分離発注現状調査

原則分離発注は56％

日本電設工業協会（電設協、平井貞雄会長）は、16年度「市町村における分離発注の現状と今後の方針」と題する調査結果をまとめ、14日の定例理事会に報告した。全国の3127市町村のうち、16年度に原則分離発注を実施しているのは1759団体（56％）、原則一括発注を採用しているのは880団体（28％）、原則分離発注にも原則一括発注にも当てはまらない市町村が488団体（16％）だった。前年度と比べ、市町村の発注方式別のウエートに目立った変化はなかった。

今後の方針については、原則分離発注を採っている1759団体のうち、1755団体が今後も分離発注を採ると回答。一括発注を行っていると回答した880団体のうち、233団体は今後、分離発注を採用するとした一方で、647団体が一括発注を維持すると回答した。

協会は今回の調査結果を受けて、各支部と電業協会に対し、引き続き市町村に分離発注の促進を働き掛けるよう求める一方、10月25～11月12日にかけて、在京副会長や政策委員会の役員らが国土交通省など6省庁5機関に分離発注の拡大を求める要望活動を展開する。

8月の小規模企業景気動向調査

建設業の売上等悪化

全国商工会連合会

全国商工会連合会は、小規模企業（建設業は従業員20人以下）を対象とした景気動向調査の8月分を発表した。建設業については、「採算」「資金繰り」が前月より改善したものの、「売上額」「業況」が悪化。すべての項目でDI値（ゼロが好不況の分かれ目、▲はマイナス）が大きくマイナスとなっている。一部の地域で災害復旧工事が活発だが、それ以外では「公共工事の減少と競争激化により、状況の厳しさは変わらない」といった回答が多かった。

全国約300商工会の経営指導員に、8月末時点で調査した。

このうち建設業は、売上額が▲40・3（全産業は▲10・5）、採算が▲43・6（同▲16・9）、資金繰りが▲41・9（同▲17・9）、業況が▲49・2（同▲19・3）だった。

15年度硫酸ピッチ不適正処分件数

前年度を大幅に上回る

環境省

環境省の調べによると、15年度までに判明した硫酸ピッチの不適正処分件数は75件と前年度の37件を大幅に上回った。不適正処分量はドラム缶換算で前年度約1万5500本から約2万6000本に増加した。

硫酸ピッチは不正軽油を製造する際に生じる副産物で強い毒性を持ち、人への健康被害とともに、土壌や水質への悪影響も懸念されている。調査は11年4月1日から16年3月31日までに確認された硫酸ピッチの不法投棄、不適正保管の状況を全国の都道府県と保健所設置市に尋ねた。

不適正処分の実行者は排出事業者が30％、排出事業者や収集運搬業者など複数が関与した事例が17％、実行者不明が16％だった。撤去実施者は地方公共団体による撤去が41％を占め、次いで排出事業者によるものが27％となった。

グリーン経営認証登録数

前月比11％増の533事業所

環境に配慮したトラック運送事業者などを認定する「グリーン経営認証制度」の登録数は、8月単月で35社53事業所増え、合計2711社5333事業所となった。前月比では約11％増加した。

15年10月1日から始まった同制度は、交通エコロジー・モビリティ財団（国土交通省など助成）が認証機関となって、グリーン経営推進マニュアルに基づき、環境保全に取り組む事業者を審査し、認証・登録するもの。事業者の環境改善への努力を客観的に証明し、取り組み意欲の向上や業界の環境負荷低減につなげるのが狙い。4月からはバス、タクシー向けの認証制度もスタートし、8月末までに合計で27社47事業所が認証を取得した。

また、グリーン経営の取り組みを支援し、認証取得に向けたレベルアップを無料で指導するサービスも実施している。8月31日時点で、564社（トラック506社、バス10社、タクシー48社）が同サービスを受けている。

建設業の詳しい情報は…
無料体験実施中
http://www.kc-news.co.jp
業者格付・県・市町村予算・発注予定工事 等々 情報は盛りだくさん!
お問い合わせ：
099-222-6123